

町内交通死亡事故発生件数ゼロ（3年間）

岐阜県警察本部長より感謝状授与

このほど、岐阜県警察本部桂川勝広交通部長が来庁し、当町の交通安全活動に対し、町長へ感謝状を手渡されました。

これは、令和3年8月6日から令和6年8月5日までの3年間にわたり、町内交通死亡事故発生件数ゼロを達成した功績に対し贈られたものです。

桂川交通部長から「3年間という長期にわたって死亡事故ゼロを達成されたことは、町が住民の安全のために取組まれた成果で、感謝します。揖斐警察署としても町民の皆さんのために尽力しますので、引き続きよろしくお願いします」との言葉をいただき、町長は「揖斐地区交通安全協会などの地域の皆さんが主要交差点で立哨し、街頭指導を行っている。協力していただいている皆さんに感謝するとともに、3年とは言わず、今後も死亡事故ゼロを継続していきたい」と述べました。



▲桂川交通部長（左）

大野郵便局・美濃川合郵便局を新たなクーリングシェルターに指定

気候変動適応法に基づく指定暑熱施設に係る協定締結式



▲協定書を手にする道協大野郵便局長（中央）と安田美濃川合郵便局長（左）

8月22日、日本郵便（株）と、大野郵便局と美濃川合郵便局を「指定暑熱避難施設」に指定する協定を締結しました。

指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）は「危険な暑さから避難し涼める場」として一般に開放される場所です。民間施設の指定は町で初めてであり、市町村と日本郵便（株）の同協定締結は岐阜県初です。

締結式で、道協大野郵便局長は「皆さんに郵便局を『涼みの場』として日頃から利用して欲しい」と述べると、町長は「熱中症予防のためにも日頃から開放していただけるのは大変ありがたい」と話しました。

持続可能なまちづくりのために

タウンミーティング

このほど、各地区公民館にてタウンミーティングを開催しました。

これは平成22年から行っており13回目の開催となります。今年は「大野町の持続可能なまちづくり」を目指すため、第七次総合計画、小中学校のあり方等について町長、担当部長から説明したほか、各地区が抱える課題や町の取り組み状況について説明しました。その後、参加されたのべ256人の皆さんと、防災対策、道路整備など多様な地域課題について意見交換を行いました。

行政と地域が協力してよりよい町にしていくために、それぞれの視点で話し合う有意義な機会となりました。



▲タウンミーティングの様子

長寿のお祝い

95歳おめでとうございます これからも健やかに

小森 博さん（黒野）
昭和4年7月29日生まれ





夏の夜空を彩る6,000発の花火

第29回根尾川花火大会

8月10日に「第29回根尾川花火大会」(根尾川花火大会実行委員会主催)が盛大に開催されました。

8号玉を含む超特大スターメインなど約6,000発の迫力のある花火が夏の夜空を華麗に彩りました。また、今年は大野町合併70周年、本巢市制20周年という節目の年で、大野町・本巢市の更なる発展と、花火師への感謝の気持ちを込めてスマートフォンを活用した「光のメッセージ」にも初挑戦しました。会場に一体感が生まれ迎えたグランドフィナーレでは、歓声と拍手が沸き起りました。



▲根尾川花火大会の様子

お
礼

「第29回根尾川花火大会」は、協賛企業、警察、消防、各種ボランティア、会場周辺の皆様のご協力により無事大盛況のうちに終了しました。また、翌朝の清掃活動につきましても、多くの皆様にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。



▲大野おどりの様子

黒野駅レールパークで盛大に開催!

第60回夏まつり大野おどり

8月11日に「第60回夏まつり大野おどり」が開催されました。

今回は初の試みで、流行の曲や有名な曲をみんなで踊る「レッツ☆盆ダンス」をプログラムに取り入れました。たくさんの方に参加いただき、大きな盛り上がりを見せていました。

その後、5年振りに「大野おどり」が行われ、踊りの輪が実現し、会場全体が一体感に包まれました。

児童が中部国際空港について学ぶ

～夏休み課外授業 in セントレア～

7月22日、町内の小学6年生とその保護者の21組が、中部国際空港との交流企画として「夏休み課外授業 in セントレア」に参加し、税関支署、海上保安庁航空基地、空港消防所など中部国際空港内の施設を見学し、空港での業務などを学びました。



▲中部空港税関支署での様子



▲海上保安庁航空基地での様子

子どもたちは、空港内での運営や管制、セキュリティ対策など実際の様子を目にすることにより、飛行機や空港の仕組みに興味を持ち、さまざまな学びや体験を提供する貴重な機会となりました。

児童が大野町の産業について学ぶ

～夏休み課外授業 in おおの～

7月25日、町内の小学5年生23人が「夏休み課外授業 in おおの」に参加し、町内の5つの企業を訪れました。

それぞれの企業に、児童のために工夫を凝らした授業を実施していただき、参加した児童は、ロボットのアームの操作・ミニ豊の製作・農業用機械の操作・漬け物作りなどの体験を通して、地元企業の魅力や大野町の産業について学ぶことができました。



▲(株) 東海近畿クボタ損本営業所での様子



▲厚生産業(株)での様子

全力を尽くします

東海大会・全国大会出場者激励会

8月2日「第32回全国中学生空手道選手権大会」に出場する選手の激励会を行いました。

選手は「日頃から支えていただいている方々に感謝し、優勝を目指したい」「チームに貢献できるよう頑張りたい」「後悔のない試合にしたい」「自身の力を精一杯出し切りたい」と力強く述べると、町長は「3年生の選手は最後の大会となるので、有終の美を飾って欲しい」「精一杯、自分の力を出し切って欲しい」と激励しました。

出場される選手は次のとおりです。(敬称略)

第32回全国中学生空手道選手権大会

〈男子団体形〉 大野中学校 2年 松久 弘和、堀田 健心
1年 大河 旭
〈女子団体形〉 大野中学校 3年 小林 紅愛、宗宮 柊果
2年 河野 天音

※小林紅愛さんは、女子個人形でも出場されます。

8月16日「令和6年度JOCジュニアオリンピックカップ第37回全日本小学生相撲優勝大会東海ブロック大会 兼 第26回東海少年相撲大会」に兄弟で出場する加納共喜さん、加納大喜さんの激励会を行いました。

共喜さんは「兄弟で全国大会に出場したい」大喜さんは「ライバルに勝って全国大会に出場したい」と力強く述べると、町長は「体調には十分気をつけ東海大会を勝ち抜いて、ぜひ兄弟で全国大会に出場して欲しい」と激励しました。

出場される選手は次のとおりです。(敬称略)

第37回全日本小学生相撲優勝大会東海ブロック大会 兼 第26回東海少年相撲大会

(相撲) 南小学校 5年 加納 共喜
3年 加納 大喜

8月19日「第40回全国小学生陸上競技交流大会」へ出場する河本玲良さんの激励会を行いました。

河本さんは「全力を尽くして優勝します」と力強く述べると、町長は「県大会では大会新記録での優勝おめでとう。全国大会でもライバルに打ち勝ち頑張ってください」と激励しました。

出場される選手は次のとおりです。(敬称略)

第40回全国小学生陸上競技交流大会

(陸上) 北小学校 6年 河本 玲良



▲左2番目から松久さん、堀田さん、大河さん(男子団体)



▲左2番目から河野さん、小林さん、宗宮さん(女子団体)



▲左から2番目 加納(大)さん、4番目 加納(共)さん
※中央の加納向喜さんは県大会の1年生の部において優勝。



▲全国大会に出場する河本さん

北見市
ところ通信
Vol. 296

合同ふれあい運動会

— ハッスルプレーに笑いと歓声 —

9月5日、常呂町スポーツセンターで常呂オホーツク大学自治会と老人クラブ連合会常呂支部の会員70人が参加し、合同ふれあい運動会が行われました。

的の数字を目掛け、ボールを転がし得点を競う競技では、高得点に手を上げ喜んだり、思いがけない所に転がりチームメイトと笑い合う歓声で会場は大盛り上がり。参加者は、心地良い汗を流し、親睦を深めました。

